

各位



2019年12月10日

会社名 株式会社テンポスホールディングス
代表者名 代表取締役社長 森下 篤史
(コード番号: 2751 JASDAQ)
問合せ先 乙丸 千夏
TEL 03-3736-0319(代表)

連結子会社（キッチンテクノ株式会社）の業績に関するお知らせ

当社連結子会社のキッチンテクノ株式会社（代表取締役社長：森下和光 本社：東京都新宿区）は、本日付で2020年3月期上半期の業績を下記の通りお知らせします。

2020年3月期 上半期の業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2020年 3月期 上半期	1,209	64	66	40
2019年 3月期 上半期	1,257	52	54	25
増減率	△3.8%	23.5%	23.2%	58.3%

当期におきましては、大手外食チェーン店のセルフサービス化に向けた厨房機器の入れ替えや新規工事の受注が増加しました。また、テンポスグループとのシナジーを活かした中古厨房機器や家具の提案、券売機や焼肉ロースターといったオリジナル機器の販売が好調に推移しました。しかし、地方営業所の既存顧客の新規出店の抑制や、メンテナンス部門の更新案件の減少から、売上高は12億9百万円（前年同期比△3.8%減）の減少となりました。

一方で、大手スーパー店向けには、AIを搭載した自動フライヤーや、ライスロボ（業務用自動炊飯器）等の省人化に特化した厨房機器の提案に注力しました。既にライスロボはテスト店舗への導入が完了しています。今後も、食品業界が抱える人手不足の課題解決に貢献すべく省人化・省力化の厨房機器の提案に力を入れてまいります。

以上のように、競合他社との差別化や、収益性の高いオリジナル商品の販売推進に取り組んだこと、さらに経費削減の取り組み等から、営業利益は64百万円（同23.5%増）となりました。

以上